

## 東京家政大学附属女子高等学校

### オーストラリア・ニュージーランドのターム留学

#### 辛いこと苦しいことも乗り越えて帰った生徒達が誇らしい！

附属高校では、今年度より高1、2年生を対象としたオーストラリア、ニュージーランドのターム留学を実施しており、今年は8名の生徒が様々な経験を経て無事に帰国しました。実際に現地の高校で授業を受け、ホームステイを体験してきた生徒の体験談をご紹介します。

辛いことや苦しいことも自分の力で乗り越えて、胸を張って帰ってきた生徒達。彼女たちの成長を誇らしく思います。

#### 高2 N.K.さん

私は昔から新しいことを始めることが苦手でした。そんな私が高校2年生になって留学に行くことを決意した一番の理由は海外に行ってみたかったからです。留学で味わった苦しみはやはり英語でした。聞き取れない、話せない、読めない。やはり本場の英語はレベルが違うと実感しました。しかし、私の英語は日々上達し、ホストファミリーと自由に話せるまでになりました。もちろんニュージーランドでの経験は楽しかったことも沢山あります。特に雪山旅行は雄大な景色も雪遊びも楽しいことだらけでした。

私は留学に行き自立することができました。親元を離れ、海外で、自分自身を管理し、自発的に行動して生活してきました。今後につながる大きな成長です。この経験と成長を無駄にしないよう、これからも毎日努力し、日々自分を進化させていきたい。それが留学後の私の目標です。

#### 高1 M.C.さん

私はオーストラリアのアデレードに8週間留学をしました。最初は不安なことが沢山ありましたが、楽しかったことも沢山ありました。私が現地で通っていた学校では日本人留学生に限らず、中国人やベトナム人、ドイツ人などの様々な国から来た留学生がいました。最初は授業についていけなかったり、現地の学生に英語で話しかけることが怖く、なかなか自分から英語を話すことができなかったりして辛かったです。その中でも一番苦労したことは、授業のドキュメントを作ることです。自分の英語力では理解できないことばかりで、スライドや英文をつくるのがとても難しかったです。しかし、授業で困っていると他の留学生が話しかけてくれたり、説明してくれたりして助けてくれました。すると、しだいに授業を受けることや英語を使うことの楽しさを知ることができました。そして一番楽しかったことは、休み時間に様々な国から来た留学生とお昼ごはんを食べたことです。様々な貴重な体験ができたので、この経験を生かしてこれからも頑張ります。



## イギリス エジンバラネイピア大学環境保全 & 英語研修

(2023年8月6日～22日)

環境教育学科 4年  
A.N.さん

#### Whale Arts という芸術慈善団体で木を植えるボランティア活動を体験

今回、スコットランドエジンバラにて2週間の環境保全学習、語学研修を行いました。

初日は、現地の大学の先生がエジンバラを案内していただき、街の歴史を感じることができました。スコットランドは、再生可能エネルギー大国と呼ばれるほど、風力や潮力発電に力を入れており、研修では発電所やダムの見学、川の生物調査を行いました。

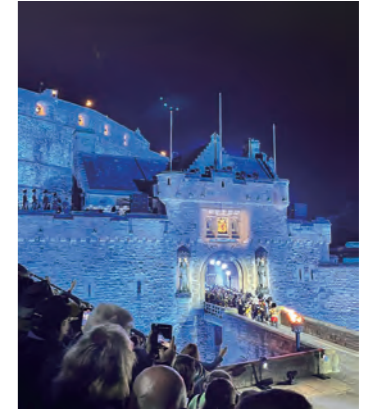
また、Whale Arts という芸術慈善団体で木を植えるボランティア活動、水素を用いたウイスキー蒸留所の見学等、エジンバラならではの体験を行うことができました。

体験以外にも、平日はエジンバラネイピア大学にて、現地で使用されている英語を学んだり、見学予定地に関する内容について学び、大変充実した授業を経験することができました。

休日はFRINGEフェスティバルと呼ばれる芸術祭に参加したり、博物館見学やケイリーダンスという伝統的なダンス体験、ミニタリータトゥーと呼ばれる音楽パレードを鑑賞したりと、毎日が本当に新鮮かつ楽しい時間を送ることができました。

スコットランドの伝統料理である、ハギスという料理も食べることができ、食文化にも触れることができました。

今回の研修では学業と文化体験の両方を楽しむことで、新たな価値観に触れることができました。



## イギリス カンタベリークライストチャーチ大学短期語学研修

(2023年8月5日～9月3日)

栄養学科 4年  
Y.K.さん

#### ゲームやディスカッションを通して楽しみながら英語を学びました

カンタベリークライストチャーチ大学短期語学研修に参加し、ロンドンの東89kmの歴史都市カンタベリーに4週間滞在しました。

平日は9時から15時まで大学の語学学校でジェネラルイングリッシュ、イギリスのカルチャー、発音などの授業を受け、机に向かって勉強というよりはゲームやディスカッションを通して楽しみながら英語を学びました。天気が良い日に芝生の上でビスケットを食べながら授業を受けたのが印象に残っています。先生が学生に何を学びたいかを聞き、それを次回の授業で取り入れていたのも印象的でした。

2日目には学校を出てシティでのフィールドワークがありました。カンタベリーに関するクイズの

答えをスマホを使わずに街を歩いて見つける、という課題があり、分からないことは通行人に尋ねる必要があったのですが、話しかけた方全員に丁寧に答えていただきカンタベリーの人の温かさを実感しました。

大学では放課後に留学生向けのアクティビティが毎日用意されていました。スポーツで他大学の学生と交流したり、ブラック

ベリー摘みを楽しんだりしました。シティにはスーパーマーケットやアパレルショップが充実していたので毎日のように友人とショッピングを楽しみました。

休みの日にはロンドンや近くの海に出掛けました。ビッグベンやバッキンガム宮殿など主要観光名所を訪れたりパブでお酒を楽しんだり、海ではフィッシュアンドチップスを食べたりと、4週間という短い時間でしたが、イギリスらしい体験を満喫できた研修となりました。

